

第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画（中間案）パブリックコメントに寄せられた意見及び意見への対応（案）

資料2-1

番号	ページ	箇所	ご意見	対応
1	P24	個別事業の基本方針2 伊賀の歴史文化と忍者をテーマとした 観光拠点、観光ルートづくりについて	観光に来て、伊賀上野城や忍者屋敷しか見るところがない印象です。なるべく街中を歩いてもらうことが大切だと思います。そのため、各町内の集議所を活用することはできないでしょうか？ 伊賀市には各町内に集議所がありますが、昼間に使用することはほとんどないと思われます。また、集議所の修繕などは各町内での町費でまかなっていると思われます。しかし、どの集議所も古く建て替えや修繕費をねん出するのも難しい状況と思われます。 そのため、各町内の集議所を忍者屋敷風にリフォームし、観光客に忍者屋敷集議所を周ってもらふスタンプラリーをしてもらうのはどうでしょうか？ スタンプラリー参加費は、各町内の集議所の修繕費にもなると思われます。また、各町内の集議所には天神祭りに使用するものも保管されているところもあると思うので、一緒に見てもらうのも良いのでは？	各町内の集議所をどのように整備、活用するかについては、各町内において自ら考えていただく事です。ご提案の事など、行政と自治会や自治協議会が協働して検討していきたいと考えています。
2	P20	目標指数の設定の考え方	事業内容が不明確で、目標数値、指標も定まっておらず意見を出しにくい。 パブリックコメントを出す中間案とする内容に至っていない。	第2期中心市街地基本計画策定委員会で実施事業を確定させて、目標指標を基本計画に記載していきたいと考えています。
3	P31	まち巡り拠点施設整備事業	既に事業着手、開始している事業である。具体的な計画を早急に検討し記載すべきではないか。	まち巡り拠点施設整備事業として、現在文化財指定されている成瀬平馬家長屋門の改修に着手しています。今後、敷地全体の活用方法について検討を行い、まち巡り拠点として回遊性の向上を目的とした事業を行いたいと考えています。
4	—	資料編（検討候補事業）	公共交通でコミュニティバスの記載はあるのに伊賀鉄道の記載がないのはなぜか。	伊賀鉄道については検討候補事業ではなく、個別事業の中に「周遊性向上事業」として計画されています。
5	—	資料編（検討候補事業）	検討候補事業が多数列挙されているが、具体的内容を記載しないのか。検討候補事業の方が重要事業が多いと考えられるため、基本計画策定に合わせ早急に議論すべきではないか。	第2期中心市街地基本計画策定委員会で議論を進め、計画が実施可能になった場合に計画事業として基本計画に記載していく予定です。
6	—	資料編（検討候補事業）	検討候補事業が多数列挙されているが、事業実現の具体性が不透明なものが多い。計画期間自体は令和5年度末と予定されているのならばその期間内で進行可能な事業を中心に記載すべき。	第2期中心市街地基本計画策定委員会で再度検証し、記載する事業について再度分別していきます。
7	—	資料編（検討候補事業）	検討候補事業の実現の可能性を上げるためにも、目標年度の明記や短期・中期・長期で事業進行を峻別して計画に記載すべき。	今回の計画期間は3年間と短くなっているので、具体的に実施可能な事業を計画に記載していく予定です。計画期間を超える中期・長期の事業については、次期以降の基本計画に記載していきたいと考えています。
8	—	資料編（検討候補事業）	検討候補事業（バリアフリーツアーや丸之内ルネサンス事業等）の具体的な内容が不明確なものが多い。事業内容や実施主体等を記載すべきでないか。	第2期中心市街地基本計画策定委員会で再度検証し、記載する事業について再度分別していきます。
9	—	資料編（検討候補事業）	旧市役所エリア活用事業は検討候補事業ではなく、詳細内容を検討協議して計画に記載すべきである。	予算措置など事業を開始するための課題がある中で、事業実施可能になった場合に基本計画に記載していく予定です。
10	全体	計画全体	あまりにも多くの事業をやろうとしている。あれもこれも詰め込むのではなく、核となる中心事業を確実に進められる計画にすべき。	現在、第2期中心市街地基本計画策定委員会の中で計画の基本方針に基づき、各実施主体が実施可能な事業を基本計画案に記載しており、今後も実施可能な事業を中心に進めていきたいと考えています。